

## 勝山地域バス調査隊が行く！ 2010 06 20

えち鉄 勝山駅長 見つけました！



●関連記事  
234ページ

●撮影／鳥居 健

### ☆☆活動報告☆☆

- 6月24日 福井鉄道株主総会
- 6月30日  
福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会総会
- 7月5日  
第2回CFDふくい 田原町実行委員会
- 7月18日 福鉄親子電車教室・7月例会

### ☆☆今後の予定☆☆

- 7月20日(月)  
第3回CFDふくい 田原町実行委員会
- 7月29日(木) 福井弁護士会セミナー
- 8月3日(火)  
第4回CFDふくい 田原町実行委員会
- 8月20日(金) 例会・理事会
- 8月21日(土) 鯖江市環境フェア

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

#### 日本は世界5位の農業大国

副題：大嘘だらけの食料自給率

浅川芳裕 講談社 838円+税

生産者に知恵をしぼるインセンティブを与えない保護行政は産業の発展を妨げる。しかし、得てして官僚は官僚が判断して生産者を支配する仕組みを作りがちである。農業に対して様々な事例を挙げて上記を力説しているのがこの本である。交通産業にもあてはまる場所があるかもしれない。農業をやっている当事者には耳の痛い本かもしれないが、私も官僚のひとりとして心しないといけないと思った。最後まで一気に読ませる面白さがある本である。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

# 地域バス調査報告

内田桂嗣

実施日：6月20日（日）

参加者：清水、畑、門、玉井、鳥居、内田 計6名

乗車バス：①市内観光バス（恐竜バス）9:33 勝山駅発⇨恐竜博物館⇨勝山駅着 100円

②同上（恐竜バス）9:50 勝山駅発⇨平泉寺⇨勝山駅着 100円

③ 乗合タクシー（北谷線）11:22 勝山駅発⇒北谷公民館⇒小原口⇒サンプラザ

↑ ↑

<この間は前日に予約が必要ですが門さんの尽力で乗車>

④乗合タクシー（鹿谷線）15:53 ゆめおーれ勝山発⇒矢戸口⇒発坂駅前

（片道矢戸口まで200円 帰路矢戸口から発坂駅前100円）

※地域のバスはコミバスと乗合タクシーが中心。乗合タクシーは予約（デマンド）型中心。

運賃は近郊は100円、通常200円、コミバスや恐竜バスは100円（1日フリーパス100円）

えち鉄に乗り、勝山駅に着くとすでに門さんがお出迎えでした。ひとりづつ、勝山市の封筒を渡され、その中にはかなり大きい路線図と全路線の時刻表の一覧表と全路線の収支のデータが記載されたペーパーが用意されていた。準備万端といった感じだ。

勝山市内は民間の路線バスは全くありません。中心となる生活用の移動手段は、観光も兼ねたコミバス（恐竜博物館行きと平泉寺行きがあり100円（1日フリー）と乗合タクシーの2本立てです。コミバスは予約不要の定時運行ですが、乗合タクシーは運行の半分は予約型の定時運行をしています。予約は前日に乗車するバス停と時刻表の時間を告げるものです。ただ、いったん予約がはいれば他のバス停の予約がなくてもその路線を運行するようです。

面白いのは、バス停は一応あるのですが、乗客の家の近くで乗降ができるので乗客は移動距離が短くてすみます。ちょうどその時は停車した目の前が乗客の自宅で、しかも運転手と顔なじみなので乗降するところもわかっていて、乗合送迎タクシーと言った感じです。

北谷という山あいの地域で20世帯以下の集落をつないで走る北谷線の効率的な住民サービスはどうあればよいのか考えさせられました。どの便も4~6便程度ですが、行政経費を切り詰めながら効果的なサービスの提供を探ってきた結果でしょうが、急に用事ができて出なければならない、となるとお手上げですね。そういった生活（急な出来事に対処しなければならない）を強いられる人は、その生活ができる場所に自らが移り住むのでしょうか。行政の施策を待つのではなくサービスの提供が整っている場所にね……。これが過疎地域の生ずる原因でしょうか。

# 勝山地域バス調査に行ってきました！！

畑 みゆき

強烈な晴れ女の私と、強烈な雨男の内田さんも参加する勝山地域バス調査に行ってきました。当日は内田さん、清水さん、玉井さん、鳥居さん、畑の5人が調査に出かけ、勝山駅ではガイドをお願いした門さんと合流し1日がスタートしました。(私は福鉄・えち鉄共通のフリーキップで参加)



## 【調査した路線と特徴】

行き先	恐竜博物館方面	平泉寺方面	北谷線	鹿谷線
バス形態	市内観光バス		乗合タクシー	
料金	1日フリーで100円 コミバスも乗車可能		200円 (近い所は100円)	
乗降	所定のバス停にて乗降		市街地内は所定のバス停にて乗降し、市街地を抜けた区間からは既定路線の範囲内でどこでも降車可能	
その他	恐竜博物館と平泉寺(勝山大仏等も)の観光地へ届けてくれる観光バスで、土日祝限定のバス。バス車体のラッピングが特徴的		北谷地区は50世帯あり、住民の時間ニーズがバラバラ	1便あたりの乗客数が多い路線

○勝山市内を走る地域バスの特徴として、「勝山駅」「尊光寺前」「サンプラザ前」の3箇所をすべての路線が通り、乗り継ぎ拠点にもなっている。

○北郷線は昨年新設され、通勤時間に利用できるようなダイヤになっている。

○運行に関してギリギリの所まで合理化を図っているが、やはり赤字がでてしまう。しかし議会では継続の方向性であるため、いかに乗ってもらうかについて更に考えていきたいとのこと。

## 【感想】

○どの路線に乗っても運転手さんがとても親切で、北谷線では、予約を事前に入れていなかったデマンド区域の北谷公民館から奥にある谷や小原口へも、是非とも行きたいとの要望に応じてくれました。(乗客がいれば当日でも行ってくれるとのこと)

○また、一緒に乗ったおばちゃんはクルマを返上し無料パスを使ってバスに乗っているが、大変ありがたいと感じる一方で、無料で乗ることを申し訳ないと言っておられました。

○北郷線では、勝山の人ではないことが確実でどこの誰だか分からない。しかも終点まで乗っても一向に降りようとしなない、めちゃくちゃ怪しいROBA御一行を、えち鉄の発車時間に間に合うように、制限速度を守りつつ駅まで届けてくださいました。乗合タクシーでは“これぞ地域バス！！”という醍醐味を感じてきました。



高齢者用の無料パス



北谷線の車内(満員御礼)



市内観光の車内

## 勝山地域バス調査に参加して

6月20日地域バス調査ならびに例会に参加しました。勝山で 門理事にお世話になりました。はっきり言って私たちだけでは実施不可能だったと思います。私はえちぜん鉄道の沿線に住んでいるので公共交通は簡単に利用できます。他の乗客の意見を聞いて、改めて過疎地域におけるバスの実態がはじめてわかりました。 (玉井 秀和)

昨日の地域バス調査は、心配していた雨にもほとんど降られず充実した内容で大変満足しました。門さんには、終始お世話になりありがとうございました。

恐竜バスとコミュニティバスは、恐竜博物館への観光客で混雑する時期でも地域住民の足を確保する必要があるため、わざわざ系統を別にしているのだと思いますが、できれば統合した方がわかりやすいと思います。

北谷線では、一般のお客さんが市会議員の門さんにバス運行時刻の改善要望（13時台の便を復活させてほしい）を直接ぶつけておられました。買い物客と通院客、どちらのニーズを優先させるか悩ましいところです。

運転手さんの愛想の良さにも感激しました。用事もないのにバスに乗ってる特異な？集団ですから、不審な目で見られるのではと危惧してましたが、そんな心配は全く無用でした。運転手さんから直々に降雪時の苦労話も聞いたことですし、個人的にはできれば冬にもう一度北谷線に乗って、雪に閉ざされた限界集落の状況を見てみたいと思いました。来年2月の左義長ツアーのオプションとして企画するのもいいかもしれませんね。

(鳥居 健)

初めての『地域バス調査隊』。最初に勝山駅西口の駐車場で出会った『恐竜バス』がなかなか気に入りました。小型ながらも本格的な均整の取れたスタイルのバスに恐竜のラッピングが非常に似合っていて、しかも接客設備も良く、どこへ出しても恥ずかしくない観光ルートの“バス”でした。これで福井県立恐竜博物館と平泉寺白山神社へ。どちらのルートもダイヤがまばらなのが非常に惜しいですが、勝山駅と勝山の2大観光地、恐竜博物館と平泉寺白山神社を結ぶ直行ルートの観光客の足というコンセプト、デザイン、接客設備を私はかなり気に入りました。これを知っただけでもかなりの収穫でした。できればダイヤを充実させて、えちぜん鉄道勝山永平寺線の観光機能をしっかり補完し、一体化して欲しいと思いました。

次に乗車した北谷線は山間集落に特徴的な古民家が点在するところを走り、白山麓の深い谷を体験できるとあって非常に楽しみにしていたのですが、期待通り十分に興味深い体験乗車でした。限界集落の美しい古民家群。垣間見える限界集落の生活、シビルミニマム交通のダイヤの悩みを訴える乗客。強い印象を焼き付けられました。

鹿谷線。一度鹿谷町の奥の方へ行ってみたかったので、この乗車を楽しみにしていたのですが、地図で見る以上に広い鹿谷町を味わいました。北谷線も鹿谷線も同様に、市場に委ねるには人口が足りない地域を走ります。しかし、決して馬鹿にならないたくさんの集落群を縫って走ります。全国的に、福祉の領域の生活バスをきっちりと維持できる枠組みの再構築が是非必要ということでしょう。『交通基本法』の成立と、皆ができるだけ選択し支えるという根本的な意識啓発のしくみの構築が必要ということを改めて深く認識した体験でした。(清水 省吾)

# カーフリーデーin 田原町の実行委員会が本格始動しています！！

(報告 はたみゆき)

今年で4年目のカーフリーデーですが、今年からは地域のまちづくり団体さんや商店街、地域住民が企画段階から参加して実施する素敵なカーフリーデーになりそうです。(これまでを考えれば夢のような企画だと思う。)実行委員会を始動したのが6月中旬だったこともあり、本番まで3カ月程度しかありませんが、今年ではできる限りの内容で進めていこうと思います。

(※田原町さんとのカーフリーデー企画は、今年だけでは終わらず、来年度以降も引き続き取り組んでいきます。)

さて、気になる今年のカーフリーデーの内容ですが、まだ企画を考え始めたばかりなので、詳しい内容はまだ報告できませんが、現段階での企画内容をお知らせします。[出入りがしやすい雰囲気なのでいつでも覗きにきて下さい。]

ウォークラリー	スタンプラリー	公共交通割引キップ	商店街のおつまみ堪能
自転車を使ったラリー(サイクルトレインを含めて)のタイプと、歩いて田原町を探検してもらうタイプを考案中。	単にスタンプを押してもらうのはつまらないので、ウォークラリーと一緒にするか考案中。	昨年同様に、バス市内区間の子ども料金や、フリーキップの子ども料金を100円にできないか考案中。	商店街のお店で考えたおつまみをバイキングで楽しんでもらう(低価格の有料で設定)→お店を募集中

**その他の盛りだくさんの企画はこちら！**

**<通行止め区間>**  
電気自動車やシニアカー、自転車タクシーを使って、歩車共存の「まちづくり」の実験や、オープンカフェ、バスの乗り方教室等…。

**川のおそび空間「ボート下り」**

**<CDF拠点たわら屋>**  
田原町のまちづくりを来訪者で考えてもらうラボ機能もある。

**福鉄のバス待機所を、京福バス・すまいるバス合同の臨時バス停に！**

**まちなかにある雑木林を使ったおそびの空間**

**<えち鉄&福鉄駅でのモビセン>**  
田原町駅の駅づくりを考えるミニラボ、総合案内、レンタサイクル等…。

# ホジロバ交通体験記【2人目】

## 福井市のコミュニティバス「すまいる」を体験してきました！

(報告 畑)

少し前の事になりますが、4月の行楽日和を利用し、“すまいるバス乗り放題の旅”をしてきました。この日は平日も平日、春の代休消化強化月間(私の勤務先、所属部署だけの取組み)だったこともあり、金曜日の午後から乗り放題に出かけました。

スタートは会社から、まず最寄りのすまいるバス停は……と、のりのりマップを手に「木田3丁目第2」を発見しました。福鉄花堂駅近くの会社からバス停まで徒歩10分、閑静な住宅地のまちなみや庭を眺めながらバス停に向かいました。(これまでの経験から、日中に住宅街を歩くと不審者扱いされる…)

私の小さな旅は「桜がある場所と乗り換えをすること！」と旅の条件を決めていたので、目的地としては足羽山、養浩館、福井郷土歴史博物館に決めました。乗り換えは駅前商店街で楽々乗り換えでなく、駅前以外の場所で乗り換えを試みました。

桜の時期は大体どこでも桜が咲いているので場所の条件は楽々クリア。しかし乗り換えとなると結構な負担が…！ 日差しが強く強烈な紫外線の下で、どうやって待ち時間を過ごそうかと考え、かつ、目的地にストレートではたどり着けないように乗り換えポイントを決めるのに苦労しました。結局、乗り換えポイント周辺の町並みを見たり、普段は絶対に入らないお店に入ってみたり、負担をかけたはずが負担になっていない状況で楽しんでしまい、ふと気が付くと、中心部であれば乗り換え接続しているバス停以外でも少々歩く(10分程度)と簡単に別路線のバスに乗り換えられるので、危うく歩いて別路線に乗り換えしそうな勢いでバス停周辺のまちなみを散策していました。



木田3丁目第2バス停(県宿舍の前にあるよ)



夕方4時頃(学生や仕事帰りの人が多い?)



愛宕坂(観光客が多い。すまいる、さくら号、観光バスから次から次へと人が降りてきた)



茶道美術館でお抹茶を一服



茶室では作陶展が(買っちゃった~)

## 《気づいたこと》

### ★すまいるバスと京福バスのバス停が一緒だと……

バス停の看板は京福バスの看板になっています。そんなバス停は結構あるようで、例えば田原・文京方面(赤ルート)の江戸上町で降車し、再度同じ場所から乗車する場合、バス停に行くと京福バスの看板が立っています。たしか…ここで降りたはず…と思っても京福バスの看板しかありません。ここで待っていてすまいるバスに乗れるのかな?と不安になります。近づいてよく見ると、すまいるの時刻表が小さく貼りついていました。観光客的には京福バスとすまいるバスの区別がつかないので、すまいるバスのバス停と京福バスのバス停の両方が必要かも知れません。

(※ちなみに、まちづくり福井㈱に聞いたところ、すまいるのバス停を設置する予定はないとの事。)

### ★春の花見シーズンのすまいるバスフリー切符は！

すまいるバスフリー切符を使ってまちなか観光をする県外客が意外と多く、特に愛宕坂から足羽山に登る人がたくさんいました。またバスも満員御礼状態。

### ★バスの乗り継ぎを便利に利用している人発見！

照手・足羽方面(緑ルート)では乗客の中にバスの乗り継ぎをして目的地に行く人がいました。その人は桃園辺りから乗車し、駅前で大和田エコライン(エルパバス)に乗って大和田に買物に行くようで、たまに利用するそうです。上手く乗り継ぎをしているようでちょっと嬉しくなりました。

### ★会社を休んだ甲斐があった？

福井市郷土歴史博物館で20年ぶりに小中学校の同級生に出会いました。今まで何度か行ったことのある施設ですが、初めて出会いました。(懐かしかった～)



すまいるバスのバス停が分かりにくい(江戸上町バス停)



近づくと分かる



宮前町バス停も京福バスとの兼用だ。



照手・足羽ルートでの13:30頃の車内  
(満員御礼!!)



駅前の南通りですれ違った観光周遊バス「さくら号」立ち客はいないものの、満員みただ。

## ★ 友ちゃんの金沢特派員報告 第4号★



作/漆寄 耕次

近年、「モビリティ・マネジメント」という言葉を良く耳にするようになりました。

今回は、  
金沢市における小学校を対象としたモビリティ・マネジメントの取組  
を紹介します！

金沢市では、小学校の段階からクルマと公共交通のかしこい利用方法を学んでもらい、将来の安易な自動車利用への転換を抑制するために金沢版交通環境学習を実施しています。

### 『金沢版交通環境学習』

金沢版交通環境学習は、導入版と発展版の2段階に分かれて実施されています。

#### ①導入版

自転車安全教室の実施に合わせて、金沢市内における全小学校の3年生を対象に実施されています。授業では、交通と環境の関係やバスの乗り方を学習し、本物のバスで乗降練習を行います。バスの乗り方を机上で学習するだけでなく、実践することによって学習が深まる仕組みになっています。

#### ②発展版

小学校4～6年生を対象に希望校で実施されています。授業では、「①導入版」で学習した内容をさらに深めるいくつかのプログラムが用意されています。

金沢版交通環境学習は、本年度から本格実施されています。授業内容は、3ヶ年にわたり現場の先生や学識経験者の意見を聞きながら作成し、モデル校での実施を経て改善を加えながら構築したものです。

金沢市では、金沢版交通環境学習の本格実施により、継続的に小学校における交通環境学習を実施する体制が整っています。

(大西 友世)

### 編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「桜木図書館にのりものコーナーの特集。」電車ガールが置いてなかったので、郷土の棚から移動し置いたら、すぐ貸し出し中になった。やっほー！」

内田(発行責任者)

「私の好きな夏が来る。先日、麻丘めぐみさんと握手をしてきました！ ♪私の彼は左利き ♪」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>